都立光丘 高等学校 令和６年度（２学年用） 教科　国語　科目　文学国語

教　科：　国語　　科　目：　文学国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　6 組

使用教科書：（　『文学国語』　東京書籍　）

教科　国語　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　文学国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　Ⅰ部７　評論２ 【知識及び技能】 (1)(ｱ)言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。 (1)(ｲ)情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2)(ｱ)文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 B(ｱ)文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えること。 B(ｵ)作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1. 本文を通読する。 2. 「アモラル」という視点から，筆者が三つの事例の作品のどこに着目しているか整理する。 3. 三つの事例について，筆者の捉え方を読み取る。 4. 筆者が，アモラルな物語をそれほど高く評価しないという理由を読み取る。（手引き３−４） 5. 文学のモラルや社会性に注目しながら，「文学のふるさと」を筆者がどのように考えているかまとめる。 ・教材 「文学のふるさと」 その他関連資料			○	【知識及び技能】 ・言葉には，想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して，我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開，描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，人間，社会，自然などに対するものの見方，感じ方，考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く具体例と筆者の主張との関係に注意して本文を読み，学習課題に沿って文学のふるさとについて，筆者の考えを理解し，まとめようとしている。	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1
	単元　Ⅰ部２　小説１ 【知識及び技能】 (1)(ｱ)言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。 (1)(ｲ)情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (1)(ｴ)文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うこと。 (2)(ｱ)文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 (2)(ｲ)人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 B(ｱ)文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えること。 B(ｲ)語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈すること。 B(ｵ)作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1. 作者について基本知識を得る。作品を通読する。 2. 語句の意味を確認し，漢文調を生かした語句の意味を明らかにする。 3. 「語り」の変化を手がかりに，本文をいくつかの場面に分け，それぞれの要点をまとめる。 4. 李徴の性格や心情、生き方を読み取る。 5. 李徴と袁傷の関係、交流、心情の変化を読み取る。 6. これまでの学習を踏まえて，李徴が虎になった理由についてどう分析しているかを押さえ，主題に迫る。 7. 怪異な虚構が用いられた理由，効果について発表する。 ・教材 「山月記」 その他関連資料			○	【知識及び技能】 ・言葉には，想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について，体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通して，我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間，社会，自然などに対するものの見方，感じ方，考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開，描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において，語り手の視点や場面の設定の仕方，表現の特色について評価することを通して，内容を解釈している。 ・「読むこと」において，作品に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉えるとともに，作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，作品の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く登場人物の心情を把握し，学習課題に沿って主人公の内面と苦悩を理解して，その生き方について考え，話し合おうとしている。	○	○	○	15
	定期考査						○	○		1
2学期	単元　Ⅰ部４　小説２ 【知識及び技能】 (1)(ｱ)言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。 (1)(ｲ)情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (1)(ｴ)文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うこと。 (2)(ｱ)文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 (2)(ｲ)人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 B(ｱ)文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えること。 B(ｴ)文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察すること。 B(ｵ)作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1. 作者について基本知識を得る。作品を通読する。 2. 語句や表現に留意しながら本文を読み、山椒魚の置かれた状況やその心情、行動を読み取る。 3. この作品に込められた寓意について，自分自身の生き方や考え方に触れながら，六百字程度の文章にまとめる。 4. 【文学への扉】「小説は誰のものか」を読み，作者自身による改変について理解する。 5. 作者が削除した部分がある場合とない場合を比較して，その部分が持つ意味を考える。 ・教材 「山椒魚」 その他関連資料			○	【知識及び技能】 ・言葉には，想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について，体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通して，我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間，社会，自然などに対するものの見方，感じ方，考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開，描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の仕方を踏まえ，解釈の多様性について考察している。 ・「読むこと」において，作品に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉えるとともに，作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，作品の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く登場人物の心情を把握し，学習課題に沿って作品に込められた寓意について，自分自身の生き方や考え方に触れながら文章にまとめようとしている。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
	単元　Ⅰ部４　小説２ 【知識及び技能】 (1)(ｱ)言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。 (1)(ｲ)情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2)(ｱ)文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 B(ｱ)文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えること。 B(ｵ)作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1. 太平洋戦争，殊に沖縄戦について知る。 2. 作品をを通読し，あらすじを整理するとともに，語句の意味，漢字の読みを確認する。 3. 初発の感想を話し合う。 4. 全体が三つの段からなることを確認し，時系列に即した事件の展開を理解する。 5. 「私」と「娘」が置かれた状況や立場を，地の文の説明やそれぞれの発言に注意して読み取る。 6. 「私」の「娘」に対する心情と，最後の場面におけるその行動の意味を読み取る。 7. 比喩表現や，人物の描写に関わる象徴的な表現などを指摘し，その効果について考える。 8. 感想を交換し，主題について全体で話し合い，更に必要に応じて，発展的な読書，調査などによって，考えを深める。			○	【知識及び技能】 ・言葉には，想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して，我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開，描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において，作品の内容や解釈を踏まえ，人間，社会，自然などに対するものの見方，感じ方，考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く時代背景や登場人物の生き方・考え方を把握し，学習課題に沿って，人間の生と死について考え，まとめようとしている。	○	○	○	13

		・教材 「沖縄の手記から」 その他関連資料								
	定期考査						○	○		1
3学期	単元　Ⅰ部6　小説3 【知識及び技能】 (1)(ｱ)言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。 (1)(ｲ)情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (1)(ｴ)文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うこと。 (2)(ｱ)文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 (2)(ｲ)人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 B(ｱ)文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えること。 B(ｲ)語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈すること。 B(ｴ)文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】	1.作者について基本的知識を得る。 2.作品を通読し、「私」とお嬢さんとの関係，「私」とKとの関係を理解する。 3.本文を話の展開にしたがっていくつかの意味段落（五つ）に分け，それぞれの内容を大まかに把握することを目標に，簡潔に要約する。 4.「私」とKの性格の違いを明らかにしたうえで，二人の関係に注目し，「私」の心情を読み取る。 5.【文学への扉】「襖という建具」を読み，作品舞台の間取り図を確認し、本文中で重要なはたらきを持つ襖の役割に注目する。 6.Kと「私」との心理的なやりとりを読み取り，「私」に対するKの態度の変化を理解する。 7.語り手である「私」には見えることと見えないことがあることを踏まえ，Kの心理について読者として推理し，物語の構造を捉える。 8.場所・時などの変化に注意して事の経緯を読み取り、「私」とKの性格や生き方の違いについて考える。 9.この小説の主題（例えば，エゴイズムなど）について，考えたことを話し合う。 ・教材 「こころ」 その他関連資料			○	【知識及び技能】 ・言葉には，想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について，体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通して，我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間，社会，自然などに対するものの見方，感じ方，考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開，描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において，語り手の視点や場面の設定の仕方，表現の特色について評価することを通して，内容を解釈している。 ・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の仕方を踏まえ，解釈の多様性について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く登場人物の関係性と心情を描写から把握し，今までの学習を生かして人の心のありようについて考えを深め，自分の考えを話し合おうとしている。	○	○	○	15
	定期考査									1
										合計 70